

これについては、「大阪市西淀川区佃と東京佃島の関係について」\*6をご参照ください。

### 参考文献等

- \*1 Japan Knowledge (商用データベース)「住吉神社 西淀川」で全文検索
- \*2 『西淀川区史』大阪都市協会編集 西淀川区制七十周年記念事業実行委員会 1996 \*
- \*3、「西淀川図書館」→「西淀川区を知る」→「郷土史よくある質問」→「西淀川区」『西淀川区の祭「一夜官女(いちやかんじょ)祭」について』
- \*4『神社を中心とする村落生活調査報告 1』黒田一充・編集 内海寧子・校訂 関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター 2007
- \*5『日本歴史地名大系 28 大阪府の地名 1』平凡社 1986 \*
- \*6、「西淀川図書館」→「西淀川区を知る」→「郷土史よくある質問」→「西淀川区」『大阪市西淀川区佃と東京佃島の関係について』
- \*7『西成郡史 全』西成郡役所編 名著出版 1972 \*
- \*8『摂津名所図会大成 其之2』暁 鐘成著、松川 半山画 柳原書店 1976 \*

### 西淀川区の神社について:上記以外の資料

- 『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986 \*
- 『大阪府神社史資料 上巻』大阪府編 大阪府神社庁 1986 \*
- 『大阪伝承地誌集成』三善 貞司編著 清文堂出版 2008 \*

### 大阪府神社庁ホームページ


<https://www.osaka-jinjacho.jp/> (地図もあり位置確認に便利です)

### 大阪市西淀川区ホームページ 文化財、名所・旧跡、碑・歌碑、伝記・伝説 (簡潔に要点がまとめられています。)

<https://www.city.osaka.lg.jp/nishiyodogawa/category/3248-4-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

毎日新聞「わが町にも歴史あり」西淀川区の記事 朝刊大阪版に2010(平成22)年1月7日より4月8日まで連載されたものも参考になります。\*毎索(マイサク)(商用データベース)

この調べかたガイドでは、西淀川区の神社について調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

西淀川図書館に所蔵しているものは、書誌事項の後に\*をつけて表示しています。(※の無いものも所蔵館から取り寄せできます。) 商用データベースは当館多機能 OMLIS で閲覧できます。小学生から読めるものは書誌事項の後に  オムリンマークをつけています。

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド:各区版

西淀川区の調べかた

神社編



西淀川区のマスコット「こ〜よん」

### 大阪市立西淀川図書館

〒555-8501 大阪市西淀川区御幣島1丁目2番10号

TEL 06-6474-7900

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

**開館時間** 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日

10:00～17:00

**休館日** ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

●年末年始 ●蔵書点検期間

調べかたガイド：各区版  
西淀川区の調べかた  
神社編

Ver. 5 2026.3改訂

## はじめに

区内には、『西淀川区史』に記載された神社に限っても、8神社あります。この8という数は、歴史遺産の豊富な大阪市中心区と比較しても、決して少ない数ではありません。

西淀川地域は、難波八十島と呼ばれた古代・中世から、当時未だ水底にあった中心区に比べて、多くの人口を擁する地域であったことを示しています。

また、すべての神社が住吉大神、あるいは、神功皇后を祭っている事実は、いかに、この地域が、海とのゆかりが深いものであったかを物語っています。

ここでは、西淀川区史に掲載されている現存8神社について、概略をまとめました。

なお、神社名称は、『西淀川区史』記載名称に統一しました。

## 野里住吉神社

祭神:住吉大神を祭神とする。旧村社。永徳二年(一三八二)將軍足利義満の勧請と伝え、近世には野里(のざと)村の産土神。境内社には五座相殿社・事平神社・稲荷神社がある。\*1

住所:野里 1-15-12 創建:1382(永徳2)年 \*2

特徴ある神事:大阪府指定文化財である「一夜官女祭」が有名です。

詳細は、当館ホームページ「西淀川区の祭『一夜官女祭』について」を、ご参照下さい。\*3

## 鼻川神社

祭神:神功皇后、須佐之男命 住所:花川 2-1-12

創建:800(天平宝宇 19)年 \*2

由緒:神功皇后が、三韓出兵の際、付近を仮の野立所にされたが、住民が柏餅を献上した。皇后は大変喜ばれ、「中津川の鼻にあるので、鼻川、また、渡し場を柏の里」と命名された。\*3

特徴ある神事:無言の神事。10月18日の前夜、初穂、海の物、山野の物 二膳を調理し献供。祝詞も目読。無言のうちの神事を行なっているとのことです。\*2

1935(昭和10)年頃編集された記録にも、「熟饌生臭と精進と二種有り。御食は(白蒸)、御酒は(甘酒)、鏡餅は(味噌餡柏餅)、他に魚菜果物 30余種を調理 \*4 とあります。

また、無言の神事については、「毎年10月18日午前2時執行。式は普通祭典なるも、祓詞及祝詞は奏上をなさず、只文を御観覧きよす。此の時熟饌」と記録されています。\*4

## 姫島神社

祭神:阿迦留姫命、住吉大神 住所:姫島 4-14-2

創建:不明 \*2

由緒:古事記・応神天皇の条に、阿迦留姫命が新羅国王の子、天之日矛(日本書紀では天日槍と記す)の妻となり夫に尽くしたが、夫は妻をのしり虐待するので、小舟で難波に逃避行してきたといわれています。\*2

境内の史蹟等:境内に万葉歌碑「妹が名は千代に流れん姫島の小松がうれにこけむすまでに」があります。\*2

神事:「春夏二季大祭には献湯行事ありて、参拝者湯笹の奪合あり。

遥拝式、夏祭りに新淀川対岸高見町に於て齋庭に到り遥拝式挙行す。」\*4

## 福住吉神社

祭神:住吉四神 住所:福町 2-15-6

創建:1656(明暦2)年 \*2

由緒:航海の安全と豊漁を願って神崎川の川床に宮地を築き上げ住吉大神を勧請したと伝えられています。

## 大野住吉神社

祭神:住吉四神 住所:百島 1-3-98

創建:1644(正保1)年 \*2

由緒:この地の開発に伴って、守護神として勧請されたと伝えられています。

## 五社神社

祭神:天照大御神、住吉大神、須佐之男命、豊受大神、火之迦具土神 住所:中島 1-2-8

創建:1688(元禄1)年 \*2

由緒:中島新田の開発時に創建。京都の丁子屋中島市兵衛が開発しました。\*5

その為か、当区には珍しく住吉系外の神々も勧請されています。文化文政時代には津田常則という高德碩学の神官がおり「城島のくさ神様」と俗称されました。\*2

## 大和田住吉神社

祭神:住吉四神 住所:大和田 5-20-20

創建:842(承和9)年 \*2 一説には、1313(正和2) \*7

境内の史蹟等:

万葉歌碑「浜きよく浦なつかしき神代より千船のとまる大和田の浦」\*2

判官松之碑

大和田住吉神社境内に、大和田青年団が1941(昭和16)年に建立した「判官松之跡」の石碑があります。

この碑文の大意は、「1185(元暦2)年、源義経は平家追討の軍を率いて船出するが、暴風雨にあい漂流、大和田浦に着岸。そこで、当村の住吉大明神に海上安全を祈願し、松を記念樹として植えたので、里人はこれを判官松と呼んだ。以後700年、樹容壮麗となり北摂の名勝として知られるだけでなく、淀川尻の示標として舟人の親しむところとなったが、惜しいことに1877(明治10)年消失した。」\*2

この松は義経の腰掛松とも呼ばれ、『摂津名所図会』には、「大和田にあり。九郎判官義経大物浦赴きたまふ時ここに憩いたまふとなん。大坂より尼崎へ行きかふ船より鮮やかに見ゆるなり」と記載されています。\*8

また、『西成郡史』も「腰掛松」が明治10年ごろまであった事を記載しています。\*8

## 田蓑神社

祭神:住吉四神 住所:佃 1-18-14

創建:869(貞観3)年 \*2

由緒:神功皇后が三韓からの帰途、海士が海魚を献上。その時、下賜された舟の鬼板を神宝とする。\*2

境内の史蹟等:紀貫之の歌碑1974(昭和49)年建立「雨により田蓑の島をけふゆけばなにはかくれぬものにぞありける」古今和歌集 \*2

また、「佃漁民ゆかりの地」大阪市の顕彰碑があります。\*2